

R7 生徒用						
生徒(回収率 全体:84.5%) 【参考(昨年度):回収率 全体:71.0%】						
分類	番号	質問内容	R5	R6	R7	前年比
全般	1	東住吉総合に入ってよかったと思う。	85.3%	79.0%	83.2%	4.2%
全般	2	自分の学級(クラス)は楽しい。	84.5%	82.9%	85.2%	2.4%
全般	3	学校生活で挨拶ができる。	91.0%	88.8%	91.5%	2.7%
全般	4	学校で、事件・地震や火災などがおこった場合、どう行動したらよいか、知らされている。		92.2%	90.0%	-2.2%
			85.3%	85.7%	87.5%	1.7%
総合学科	5	総合学科の仕組み選択科目の選び方がよくわかる。	87.1%	91.8%	91.5%	-0.3%
			87.1%	91.8%	87.5%	-4.3%
学習指導	6	授業はわかりやすく、楽しい。	75.7%	76.0%	75.9%	-0.1%
学習指導	7	先生は、授業でわからないことについて丁寧に対応してくれる。	84.5%	86.3%	87.7%	1.4%
学習指導	8	授業や部活動、学校行事、ボランティアなどを通して、地域(学校外の方など)と交流がある。		75.6%	75.5%	-0.1%
学習指導	9	教え方に工夫をしている先生が多い。	83.6%	81.7%	82.3%	0.6%
学習指導	23	学校は一人一台端末を効果的に活用している。	89.8%	92.2%	94.6%	2.4%
学習指導	24	東住吉総合に来て、授業や部活動、学校行事、ボランティア、資格取得などに取り組むことで、「自分の未来は明るい」と思うようになった。		78.0%	78.7%	0.7%
			82.9%	81.6%	82.5%	0.8%
生徒指導	10	先生は、生徒の話をよく聞いてくれる。	84.3%	84.2%	86.5%	2.2%
生徒指導	11	学校生活についての先生の指導には納得できる。	69.9%	69.9%	73.8%	3.9%
生徒指導	12	学校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。	82.8%	80.4%	84.4%	4.0%
生徒指導	13	先生は、いじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれ	83.0%	83.1%	86.9%	3.8%
			80.0%	79.4%	82.9%	3.5%
自主活動	14	(部活動に参加している人のみ回答)部活動に積極的に取り組んでいる。	63.8%	62.8%	81.6%	18.8%
自主活動	15	文化祭、体育祭は楽しく行えるよう工夫されている。	80.6%	88.4%	87.7%	-0.6%
			72.2%	75.6%	84.7%	9.1%
進路指導	16	将来の進路や生き方について考える機会がある。	89.4%	91.6%	92.3%	0.8%
進路指導	17	学校は、進路についての情報を知らせてくれる。	89.6%	91.3%	92.9%	1.6%
			89.5%	91.4%	92.6%	1.2%
人権教育	18	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	88.5%	89.0%	87.5%	-1.5%
人権教育	19	授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある。	84.5%	85.6%	85.7%	0.0%
人権教育	20	人権について学ぶ機会がある。	90.6%	91.6%	86.7%	-4.9%
			87.9%	88.7%	86.6%	-2.1%
教育相談	21	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。	81.6%	84.9%	84.6%	-0.3%
教育相談	22	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいる。	73.0%	79.7%	80.7%	1.0%
			77.3%	82.3%	82.6%	0.3%

平均

81.9%

82.8%

85.9%

R7保護者用

分類	保護者（回収率 全体：75.2%）【参考（昨年度）：全体：64.3%】						前年比
	番号	質問内容	R5	R6	R7		
全般	1	子どもは、東住吉総合に入学してよかったと思う。	91.5%	87.7%	92.1%	4.4%	
全般	2	学校は、教育情報について、提供の努力をしている。		81.4%	84.1%	2.7%	
全般	3	学校ははじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	82.9%	82.2%	81.8%	-0.4%	
全般	11	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。		80.2%	77.3%	-2.9%	
			87.2%	82.9%	83.8%	1.0%	
総合学科	4	総合学科の仕組みや選択科目の選び方がよくわかる。	85.5%	80.6%	82.7%	2.1%	
総合学科	5	系列や科目選択の決定についての情報提供は十分であった。	86.0%	87.1%	84.5%	-2.6%	
			85.8%	83.9%	83.6%	-0.3%	
学習指導	6	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	69.1%	70.1%	67.7%	-2.4%	
			69.1%	70.1%	67.7%	-2.4%	
生徒指導	7	学校の生徒指導の方針に共感できる。	75.1%	74.0%	78.0%	4.1%	
			75.1%	74.0%	78.0%	4.1%	
自主活動	8	学校は、文化祭や体育祭などの学校行事に積極的に参加できるよう工夫されている。	82.7%	87.1%	88.9%	1.8%	
			82.7%	87.1%	88.9%	1.8%	
進路指導	9	学校は、将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている。	87.8%	88.0%	90.1%	2.1%	
			87.8%	88.0%	90.1%	2.1%	
参画	10	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	51.5%	65.5%	68.8%	3.2%	
			51.5%	65.5%	68.8%	3.2%	
人権教育	12	学校は、子どもに命を大切にする心や、社会ルールを守る態度を育てようとしている。	80.0%	78.4%	84.7%	6.3%	
			80.0%	78.4%	84.7%	6.3%	
教育相談	13	学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。	86.6%	86.8%	86.0%	-0.7%	
			86.6%	86.8%	86.0%	-0.7%	
情報提供	14	学校のホームページ等の教育情報発信は役立っている。	70.0%	72.5%	75.8%	3.3%	
			70.0%	72.5%	75.8%	3.3%	

平均 **77.6%** **78.9%** **80.7%**

R7教職員用

		教職員用(回収率71.2%)【参考(昨年度):80.3%】					
分類	番号	質問内容		R5	R6	R7	前年比
全般	1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。		86.8%	81.6%	90.5%	8.8%
全般	4	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。		76.3%	69.4%	71.4%	2.0%
全般	3	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。		60.5%	67.3%	66.7%	-0.7%
全般	4	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。		57.9%	71.4%	76.2%	4.8%
全般	5	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。			77.6%	61.9%	-15.6%
				70.0%	73.5%	73.3%	-0.1%
総合学科	6	生徒の進路に繋がるように系列や科目選択を指導している。		86.8%	79.6%	88.1%	8.5%
総合学科	7	この学校の教育活動には、他の学校にない特色がある。		84.2%	79.6%	90.5%	10.9%
				85.5%	79.6%	89.3%	9.7%
学校経営	8	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。		42.1%	36.7%	57.1%	20.4%
学校経営	9	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。		65.8%	62.5%	76.2%	13.7%
学校経営	10	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。		73.7%	81.6%	81.0%	-0.7%
				60.5%	60.3%	71.4%	11.1%
学習指導	11	生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している。		86.8%	79.6%	78.6%	-1.0%
学習指導	12	学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。		65.8%	77.6%	81.0%	3.4%
学習指導	13	コンピュータ等のICT情報機器が、授業などで活用されている。		89.5%	95.9%	97.6%	1.7%
				80.7%	84.4%	85.7%	1.4%
生徒指導	14	生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。		86.8%	75.5%	76.2%	0.7%
生徒指導	15	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。		71.1%	69.4%	50.0%	-19.4%
				78.9%	72.4%	63.1%	-9.4%
自主活動	16	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。		71.1%	75.5%	76.2%	0.7%
				71.1%	75.5%	76.2%	0.7%
進路指導	17	この学校では、生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。		71.1%	81.6%	85.7%	4.1%
進路指導	18	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。		84.2%	73.5%	88.1%	14.6%
				77.6%	77.6%	86.9%	9.4%
地域連携	19	保護者や地域の人々と接する機会を設けている。		86.8%	78.7%	66.7%	-12.1%
				86.8%	78.7%	66.7%	-12.1%
人権教育	20	人権HRIにおいて様々な人権の課題を理解し、差別や偏見のない社会を旨とし学習をしている。		78.9%	75.5%	78.6%	3.1%
人権教育	21	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。		94.7%	83.7%	92.9%	9.2%
人権教育	22	インターネットによる人権侵害や性的マイノリティの人権など現代的教育課題を教育活動に積極的に取り入れている。		73.7%	63.3%	69.0%	5.8%
				82.5%	74.1%	80.2%	6.0%
教育相談	23	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。		92.1%	85.7%	83.3%	-2.4%
				92.1%	85.7%	83.3%	-2.4%
情報提供	24	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。		81.6%	71.4%	76.2%	4.8%
				81.6%	71.4%	76.2%	4.8%

平均

78.9%

75.7%

77.5%

令和7年度 学校教育自己診断

1 学校教育自己診断（生徒）の分析

R7年度の生徒調査全体平均は85.9%で、前年度比+3.1ptと大きく改善した。

・自主活動：Q14「部活動に積極的に取り組む」62.8% → 81.6% (+18.8pt)。R7年度で最も改善幅が大きい項目であり、部活動環境の整備、成功体験の増加、広報の充実などが、生徒の「主体感」を高めたと考えられる。

・生徒指導：Q12「基本的習慣」80.4% → 84.4% (+4.0pt)、Q11「納得できる指導」69.9% → 73.8% (+3.9pt)、Q13「いじめ等に真剣に対応」83.1% → 86.9% (+3.8pt)。生徒指導の一貫性、相談・面談体制の改善が「わかる・納得できる・頼れる」指導への肯定感に結びついた。

・Q23「一人一台端末を効果的に活用」92.2% → 94.6% (+2.4pt)。学習者用端末の活用は肯定的意見を保っている。授業設計にICTが浸透していることを示している。

・人権教育：Q20「人権について学ぶ機会」91.6% → 86.7% (-4.9pt)。生徒が対話的に主体的に参加できる学習を模索していく必要がある。

・授業の楽しさ：Q6「授業はわかりやすく楽しい」76.0% → 75.9% (-0.1pt)。理解支援（Q7「丁寧に教える」）は上昇している一方、「楽しさ」の実感は伸びていない。学習活動量・思考場面の設計、ゴールの見える化を意識していく必要がある。

2 学校教育自己診断（保護者）の分析

R7年度の保護者平均は80.7% (+1.8pt)と改善した。

・学校満足度：Q1「入学してよかった」87.7% → 92.1% (+4.4pt)。教育活動の見える化が保護者の理解に結びついたと考えられる。

・人権・規範教育：Q12「命や社会ルールを育てている」78.4% → 84.7% (+6.3pt)。学習内容の再編成や丁寧な説明が保護者の安心感につながったと推測される。

・情報提供（HP）：Q14「HP等の情報発信が役立つ」72.5% → 75.8% (+3.3pt)。R7の回収率上昇にも寄与。

・授業・科目選択：Q6「授業がわかりやすく楽しい」70.1% → 67.7% (-2.4pt)、Q5「科目選択の情報提供」87.1% → 84.5% (-2.6pt)。授業成果・科目選択ロードマップの可視化が求められる。

3 学校教育自己診断（教職員）の分析

教職員平均は77.5% (+1.8pt)と改善した。

・組織連携・学校経営：Q8「分掌・学年間連携」36.7% → 57.1% (+20.4pt)。全項目中最大の改善であり、共通理解や会議の整備が作用したと考えられる。

・進路指導：Q18「一人ひとりにきめ細かい進路指導」73.5% → 88.1% (+14.6pt)。教員の実感値と保護者の評価が一致しており、本校の強みである。

・学校の特色：Q7「他校にない特色がある」79.6% → 90.5% (+10.9pt)。教育デザインが教職員に浸透している。

・生徒指導の質：Q15「カウンセリングマインド」69.4% → 50.0% (-19.4pt)。傾聴・受容・共感の一次対応、フォローの均質化が必要。

・地域連携：Q19「地域との接点」78.7% → 66.7% (-12.1pt)。行事・探究・外部連携・広報の機会を再設計していく必要がある。

4 まとめ

R7年度は、進路指導・情報発信・生徒指導の複数項目で大幅な改善が見られ、学校満足度が生徒・保護者の双方で安定的に上昇した年度であった。一方で、授業の楽しさ、人権教育の実感、相談対応の質、地域連携の不足といった課題が三者データから明確となった。

特に、数値の大幅上昇（部活動+18.8pt、分掌連携+20.4pt、進路指導+14.6pt）は本校の改善の成果を示し、低下した数値（カウンセリングマインド-19.4pt、人権教育-4.9pt、地域連携-12.1pt）は重点的な改善が必要な領域である。

次年度に向けては、「見える化」×「一貫性」×「質保証」の三軸を中心に、授業改善・相談体制強化・地域連携の再構築を進めることで、教育活動全体の質的向上を図り、生徒が自身の未来に希望を持って進路実現できる学校を引き続きめざしていく。